

科目区分	一般教養(選択科目)		
授業名	美容美術 I (デッサン・色彩)		担当講師
内容 (授業概要)	<p><b>デッサン</b> : 鉛筆や色鉛筆、絵の具を使い毎回テーマを決めてスケッチブックに表現していく。30時間実施。</p> <p><b>パーソナルカラー</b> : 資格取得に向け検定対策を中心に、色彩全般の基礎知識と色を見分ける技能、「色彩効果」としてのパーソナルカラーの基礎理論を学ぶ。30時間実施。</p>	学科	美容学科
		学年クラス	1年
		設定時期	通年
		回数	デッサン30回・色彩30回
		時間数	1回=1時限 50分
目標	<p><b>デッサン</b> : ヘアスタイル画を自由に表現できるような感性や画力を身に付ける。</p> <p><b>パーソナルカラー</b> : カラーの種類や組み合わせを理解させ、サロンワークで活かせるような似合わせの知識を身に付ける。授業を通して色彩全般の基礎知識と色を見分ける技能を身に付け、各人の肌色や雰囲気合った色彩を判別することができるようになり、メイクアップやネイル等の施術で、顧客に似合う色味の選択やアドバイス等ができるようになる。色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1(初級)取得を目指す。</p>		
授業計画	美容美術 I (デッサン・色彩)	60h	1～10回 ◆デッサン 鉛筆画
			11～20回 色鉛筆画
			21～30回 水彩画
			1～3回 ◆パーソナルカラー 導入
			4～6回 条件と感情効果
			7～9回 色相/明度/彩度/清濁/トーン
			10～12回 配色
			13～15回 フォーシーズンカラー
			16～18回 診断
			19～21回 コーディネート
			22～24回 カラーテクニック
			25～30回 検定試験対策
授業方法	<p><b>デッサン</b> : 毎回(3時間内で)課題作品を仕上げさせ評価をする。</p> <p><b>パーソナルカラー</b> : 教科書を中心に授業展開し、検定合格に向けた講義形式(ロールプレイングを織り交ぜながら)</p>		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・課題及びレポート評価80% (課題・作品の完成度及び模擬試験による習熟チェックの結果により評価を行う。)		
教員紹介	芸術学修士の学位を保有し、美容専門学校美術講師として活動されている。 パーソナルカラー協会認定講師として活躍中の講師である。実務経験に基づいたパーソナルカラー理論の授業が特徴的。		
教科書	デッサン参考プリント、レジュメ 日本パーソナルカラー協会 テキスト		
用具	教科書、カラーチャート、問題集、ハサミ、ノリ		
履修上の注意事項	自身で用意する用具が多いので、忘れ物がないように注意すること。		